

きちょう  
貴重なメダカ「<sup>ごいち</sup>吾一メダカ」



「とちぎの水物語」 から

市の中心部<sup>ちゅうしんぶ</sup>を流れる巴波川、市<sup>うすま</sup>  
役所を取りかこむ<sup>けんちょうぼり</sup> 県庁堀に絶滅<sup>ぜつめつ</sup>  
の危機<sup>きき</sup>にあるメダカが生息<sup>せいそく</sup>してい  
ます。

「吾一メダカ」という名前は、

名誉市民<sup>めいよしみん</sup>である山本<sup>やまもと</sup> 有三<sup>ゆうそう</sup>先生の  
代表作<sup>だいひょうさく</sup>「路傍<sup>ろぼう</sup>の石<sup>しゅじんこう</sup>」の主人公・  
愛川<sup>あいかわ</sup> 吾一<sup>ごいち</sup>にちなんでつけられま  
した。